

## 病院概要

|                   |  |                    |
|-------------------|--|--------------------|
| 開設者名              | 新潟県基幹病院事業 新潟県知事  |                    |
| 標榜診療科目            | 総合診療科、循環器内科、内分泌・代謝内科、血液内科、腎臓内科、リウマチ・膠原病科、呼吸器・感染症内科、消化器内科、脳神経内科、精神科、小児科、消化器外科、一般外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、形成外科（※）、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科、放射線治療科、放射線診断科、麻酔科、救急科、リハビリテーション科、矯正歯科、歯科口腔外科、病理診断科<br>※現在診療を行っておりません   |                    |
| 主な診療・実績<br>(R5年度) | 使用許可病床数<br>(稼働病床数)   | 一日平均<br>入院患者数      |
|                   | 一般   | 400床 (351床) 260.0人 |
|                   | 精神   | 50床 (50床) 43.1人    |
|                   | 感染症  | 4床 (4床) 1.44人      |
| 医療機関の指定等          | <ul style="list-style-type: none"> <li>●一日平均外来患者数 841.8人</li> <li>●年間手術件数 10,005件</li> <li>●年間出産件数 467件</li> <li>●医師数 常勤100人 非常勤8.9人</li> </ul> <p>DPC標準病院群、厚生労働省臨床研修指定病院(基幹型+協力型)、第二種感染症指定医療機関・結核指定医療機関、新潟県難病医療基幹協力病院、地域災害拠点病院、新潟DMAT指定医療機関、肝炎診療協力病院(新潟大学医学総合病院)、肝炎治療特別促進事業の医療給付に係る指定医療機関、地域救命救急センター、地域周産期母子医療センター、精神科救急医療施設、救急告示病院(三次救急)、医療観察法に基づく指定通院医療機関、エイズ治療拠点病院、日本血友病診療地域中核病院、一次脳卒中センター、重症薬疹診療拠点病院 地域がん診療連携拠点病院 臨床検査室の認定(ISO15189)、新型コロナウイルス感染症患者(疑い含む)受入協力機関、厚生労働省特定行為研修指定研修機関、紹介受診重点医療機関、病院機能評価認定</p> |                    |

| 科目             | 項目                       | 症例数(年度) |         |         |
|----------------|--------------------------|---------|---------|---------|
|                |                          | R3年     | R4年     | R5年     |
| 概要             | 外来総患者数                   | 195,335 | 202,350 | 204,548 |
|                | 1日平均患者数                  | 807.1   | 832.7   | 841.8   |
|                | 入院延患者数                   | 98,032  | 106,149 | 114,221 |
| 救急医療           | 全科 手術総数                  | 9,336   | 9,933   | 10,005  |
|                | うち手術室                    | 3,757   | 3,991   | 4,199   |
|                | 救急件数                     | 7,724   | 8,139   | 8,814   |
| 救急医療           | 救急車受入患者数                 | 2,660   | 2,818   | 3,024   |
|                | 三次救急相当の受入患者数             | 678     | 560     | 560     |
|                | ドクターヘリ受入件数<br>(他病院からの紹介) | 41      | 80      | 55      |
| 産婦人科・<br>周産期医療 | 分娩件数                     | 498     | 527     | 467     |
|                | 帝王切開術                    | 93      | 121     | 104     |
|                | NICU・GCU利用実人数            | 62      | 115     | 104     |
| がん医療           | 新生児搬送の受入件数               | 12      | 8       | 4       |
|                | 悪性腫瘍の手術件数                | 368     | 438     | 524     |
|                | がんに係る化学療法への患者数           | 2,721   | 2,118   | 3,322   |
|                | 放射線治療への患者数               | 249     | 222     | 263     |

# 臨床研修医募集案内

## 2025年度

2015年医療再編により新設。  
魚沼圏域の基幹病院として、  
三次救急、高度医療を担います。

病院見学随時受付中

病院見学の詳細はWebサイトで  
<http://resident.uonuma-kikan-hospital.jp/>



## アクセス



### 電車でのアクセス

上越新幹線 浦佐駅を利用した場合  
東京駅 ⇄ 浦佐駅 約1時間30分  
新潟駅 ⇄ 浦佐駅 約40分  
※浦佐駅から徒歩 約20分  
タクシー 約5分

### 車でのアクセス

関越自動車道 大和スマートICを利用した場合  
練馬IC ⇄ 大和スマートIC 約2時間10分  
新潟西IC ⇄ 大和スマートIC 約1時間20分  
※大和スマートICから車で約5分



魚沼基幹病院は、新潟県が設置し、一般財団法人新潟県地域医療推進機構が運営する病院です。  
病院に併設される新潟大学医学総合病院魚沼地域医療教育センターと連携し、地域医療に貢献する医療人の育成にも力を注ぎます。

一般財団法人 新潟県地域医療推進機構 魚沼基幹病院  
事務部総務課臨床研修担当  
〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐4132 Tel 025-777-3200(代) Fax 025-777-5067

魚沼基幹病院 検索 uonuma-kikan-hospital.jp/

facebook.com/UonumaKikanHospital  
twitter.com/UonumaKikanHosp



新潟大学地域医療教育センター  
魚沼基幹病院

- ★24時間365日、全科拘束・専門医が支える救急診療 研修
- ★急性心筋梗塞からスキー・スノボ外傷まで幅広い症例経験
- ★総合診療科と内科各サブスペシャリティを28週間連続研修
- ★多くの症例を経験できる整形外科研修と院内に閉鎖病棟を持つ精神科研修
- ★同一医療圏での地域医療研修

# 2025 魚沼基幹病院臨床研修プログラム

## 研修目標

将来の専門領域にかかわらず、  
医師として必要な基本的知識・技術・態度を  
身につけることを目的とする。

## プログラムの特色

魚沼は新潟県で最も医師が少ない地域のため、“かかりつけ医”のない人がたくさんいます。そのため、多くの患者さんがかかりつけ医を経ないで直接救急外来を受診します。救急症例は、脳出血・脳梗塞、急性心筋梗塞、大腿骨頸部骨折、雪下ろし外傷、スキー・スノボ外傷、交通事故など多岐にわたります。こうした症例に対応するため、救急系、外科系、内科系の3名の当直医、産婦人科医、小児科医に加え、全診療科の医師が30分以内に来院できるような体制をとっています。

当院の臨床研修では、このような診療体制に支えられ、どのような疾患でも最善の救急診療を研修することができます。もちろん、当院だけでは対応できない症例もあります。しかし、そのような症例を経験することは、将来専門医になったとき「どこまでできるか、どの時点で紹介すればよいか」を判断するときに役に立つに違いありません。

当院に入院する症例で、疾患を一つしか持たない人はほとんどいません。高齢者になればなるほど、多くの合併症を持っています。また、二つ以上の疾患を並行して治療しなければならないケースもたくさんあります。そのような症例を対象とする診療科として、総合診療科が設けられています。多くの病院では「どの科にかかればいいのかわからない」「異常がないといわれたが症状が治まらない」などの症例が、総合診療科外来を受診します。しかし、当院では一歩進んで、複数の問題（‘疾患’とは限りません）を持つ入院症例を対象として診療を行います。くわえて、症例の多い整形外科を必修とし、院内で精神科研修ができ、同一医療圏での地域医療研修を行うなど、多くの特色を持っています。

# 01 推奨ローテーション



## 1年目

| 4週       | 8週      | 12週     | 16週     | 20週      | 24週        | 28週     | 32週    | 36週     | 40週      | 44週     | 48週      | 52週 |
|----------|---------|---------|---------|----------|------------|---------|--------|---------|----------|---------|----------|-----|
| 総合診療(4週) | 消化器(4週) | 循環器(4週) | 呼吸器(4週) | 腎臓原病(4週) | 内分泌・代謝(4週) | 脳神経(4週) | 外科(8週) | 小児科(4週) | 産婦人科(4週) | 精神科(4週) | 整形外科(4週) |     |

### 1) 1年目内科28週

総合診療(総合内科)4週+内科24週(消化器・循環器・呼吸器・腎臓原病・内分泌代謝・脳神経各4週)

### 2) 選択32週

研修医の希望に応じて、32週を選択期間を設けます。内科系、外科系、病理診断科などのサブスペシャリティ科を選択し研修します。

## 2年目

| 4週       | 8週      | 12週    | 16週      | 20週     | 24週 | 28週 | 32週 | 36週 | 40週 | 44週 | 48週 | 52週 |
|----------|---------|--------|----------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 総合診療(4週) | 麻酔科(4週) | 救急(4週) | 地域医療(8週) | 選択(32週) |     |     |     |     |     |     |     |     |

多くの疾患や患者を経験したい場合は、複数の内科サブスペシャリティを組み合わせることも可能です。例えば、内分泌・代謝内科と脳神経内科などを同時に研修することもできます。



# 02 各科の研修内容

**内科** 1年目に、28週間連続して内科研修を行います。このうち、4週間は総合診療科に所属します。同科研修中は、多くの合併症を持つ症例、および複数の疾患を併せ持ちどちらも治療しなければならない症例などを受け持ちます。また、2年目にも4週間総合診療科を研修します。複数臓器に疾患を持つ症例を対象に、1年目より細かい点まで踏み込んだ内科研修を行います。また、1年目には、総合診療科と連続して消化器内科、循環器内科、呼吸器感染症内科、腎臓病内科、内分泌・代謝内科、および脳神経内科をそれぞれ4週ずつ、合計24週間研修します。これらのサブスペシャリティ研修では、各診療科に特有な高度の専門的知識・技術を必要とする診療を研修します。例えば、消化器内科、呼吸器感染症内科であれば悪性腫瘍診断・治療や各種内視鏡手技、循環器内科ではインターベンションを含む急性冠疾患対応、腎臓病内科では血液透析や膠原病疾患に対する免疫抑制療法、内分泌・代謝内科では強化インスリン療法や内分泌学的負荷試験、脳神経内科では変性疾患診断・治療などが代表的な研修項目です。ほとんどの場合、1年目の4週間の研修では不十分です。特に内科系志望の場合、2年目の選択研修で各サブスペシャリティ独特の検査や手技を深く学ぶことをおすすめします。また、血液内科については、新潟大学医歯学総合病院や県立がんセンターで専門的な研修が可能です。さらに、より専門的な循環器内科インターベンションを学ぶには、立川総合病院で集中的な研修をすることもできます。

**外科** 外科研修では、小手術手技の習得、実際の手術への参加、周術期管理の理解を目的としています。実際に患者を担当し、専門医の指導のもとチームで診療にあたります。上部消化管、下部消化管、肝胆膵および乳腺領域の良悪性疾患を対象とし、幅広く症例を経験できます。病棟・手術室での研修が主ですが、平日1コマ/週の外来研修を行うことで、術前・術後患者の外来マネジメントについても習得が可能です。

**小児科** 当院は魚沼圏域唯一の小児入院施設であり、軽症者から重症患者・専門性を要する患者まで幅広く診療にあたっています。4週間の小児科研修では、小児の診察の仕方と基本手技、コモンディジーズの診療の習得を目標とします。

研修期間中に、平日午前(1コマ/週)一般小児科外来研修を含みます。さらに希望があれば、コモンディジーズ以外の疾患を対象とした専門的な研修も可能です。

**産婦人科** 当院は地域周産期母子医療センターの機能を有し、早産・妊娠高血圧症候群・多胎などのハイリスク症例の分娩も取り扱っています。子宮頸癌・子宮体癌・卵巣癌などの婦人科悪性腫瘍に対しては、外科・泌尿器科・放射線治療科と連携した集学的治療を行っています。また、3D内視鏡システムを用いて、腹腔鏡下子宮体癌手術・骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨腔固定術を含む腹腔鏡下手術も行っています。以上のように産婦人科専門領域の幅広い研修が可能です。

**精神科** 当院には、精神科閉鎖病棟があります。そのため、一般的な精神疾患に加え、新潟県全体から集まってくる身体疾患を合併した精神疾患患者への対応を学ぶことができます。

**整形外科** 当院が立地する魚沼圏域は、スノーリゾートが多数営業しています。そのため、ウィンタースポーツ外傷の救急搬送件数が多くあります。また、農業従事者が多く、公共交通機関が運行しない地域も目立つことから、農作業中の事故や転倒・転落、自家用車等による交通事故外傷も多数受診します。さらに、超高齢社会を反映した変形性関節症や大腿骨・脊椎骨折など幅広い症例を経験できるため、必修としました。

**救急科** 救急研修は、12週のうち4週を救急科、4週を麻酔科、残りの4週を日当直による他科との並行研修とします。当院の救急科では、救急外来(ER)で救急症例の対応と、ACU(Acute Care Unit)で重症入院患者の集中治療を行っています。救急科研修では、医師として身に付けておかなければならない、重症患者の対応を数多く経験することができます。他科の医師と協力して、幅広く重症患者をみることも可能になります。

**循環器** 急性期および待機の心臓カテーテル検査・治療、およびペースメーカー植込み術などを研修し、また、うっ血性心不全についても、地域医療機関と連携しながら主に急性期診

療に関する研修を行います。希望があれば、連携する立川総合病院の循環器内科、心臓血管外科および心血管放射線科での研修も可能です。

**選択** 研修医の希望に応じて、32週の選択期間を設けます。内科系、外科系、病理診断科などのサブスペシャリティ科を選択し研修します。また、多くの疾患や患者を経験したい場合は、複数のサブスペシャリティを組み合わせることも可能です。例えば、内分泌・代謝内科と脳神経内科を同時に研修することもできます。

**地域医療** 当院は、「地域全体でひとつの病院」のコンセプトのもと、市立小出病院や南魚沼市民病院などと役割分担をすることで地域完結型医療を目指しています。当院での地域医療研修は、市立小出病院、南魚沼市民病院、小千谷総合病院で実施します。これらの医療機関はいずれも当院から自動車で30分以内に位置していて、地域完結型医療の一端を担っている病院です。こうした病院で地域医療研修を行うことにより、「地域全体でひとつの病院」で多面的に実施されている医療を体験することができます。

**一般外来** 一般外来研修は当院内科研修中(総合診療科外来4コマ<2日相当×2年>)、外科研修中(一般外科外来研修8コマ=4日相当)、小児科研修中(一般小児科外来研修4コマ=2日相当)、および地域医療施設(一般外来、午前午後外来2コマ×2/週を8週=16日相当など)で実施します。これらを合わせて、40コマ=20日=4週相当以上の一般外来研修を行います。

**当直** 原則として、1ヶ月に平日当直2回と土日日直2回を担当します。



# 03 研修分野及び期間

研修/プログラムの詳細は Web サイトで。  
<http://resident.uonuma-kan-hospital.jp/page1.html>



## 基幹型臨床研修病院

|            |   |
|------------|---|
| 必修科目       | 内科28週+4週、救急12週、外科8週、小児科、産婦人科、精神科各4週 合計64週   |
| 病院で定めた必修科目 | 整形外科4週  |
| 選択科目       | 救急、小児科、産婦人科、精神科、麻酔科、整形外科、総合診療内科、循環器内科、内分泌・代謝内科、腎臓病内科、呼吸器・感染症内科、消化器内科、脳神経内科、消化器外科・乳腺外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線治療科、呼吸器外科、皮膚科、眼科、リハビリテーション科、病理診断科 合計32週 |

## 協力型臨床研修病院・協力施設における研修分野及び期間

協力型病院の研修科目は、原則として研修医の希望に基づき、研修先の協力型病院との話し合いの上で決定し、研修開始後は研修医と協力型病院により調整します。それぞれの研修科目の研修期間についても、同様

に調整します。協力施設における地域医療研修については、研修開始後に決定します。各協力施設から期間別研修医受け入れ可能人数が研修医に提示され、研修医の希望と調整の上

で研修を行う協力施設を決定します。協力型相当大学病院、協力型病院・協力施設における指導医は別紙のとおりです。

### 新潟大学医歯学総合病院 (協力型相当大学病院)

選択：救急、小児科、産婦人科、精神科、麻酔科、整形外科、循環器内科、内分泌・代謝内科、血液内科、腎・膠原病内科、呼吸器・感染症内科、消化器内科、神経内科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、放射線治療科、放射線診断科、呼吸器外科、皮膚科、形成・美容外科、小児外科、眼科、心臓血管外科、リハビリテーション科 合計4~28週

### 新潟県立十日町病院 (協力型病院)

選択：救急、小児科、整形外科、内科、神経内科、外科、 合計4~28週

### 新潟県央基幹病院 (協力型病院)

選択：内科(総合診療科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、神経内科、循環器内科)外科、救急、循環器内科、神経内科、整形外科、放射線科 合計4~28週

### 立川総合病院 (協力型病院)

選択：循環器内科、心臓血管外科、心血管放射線科 合計4~12週

### 新潟県立がんセンター新潟病院 (協力型病院)

選択：血液内科、形成外科、放射線科、緩和ケア内科 合計4~28週

### 魚沼市立小出病院 (協力施設)

必修：地域医療 4~8週

### 南魚沼市民病院 (協力施設)

必修：地域医療 4~8週

### 小千谷総合病院 (協力施設)

必修：地域医療 4~8週

### 新潟県庁 (協力施設)

選択：医療行政研修 合計4~8週

# 04 指導体制

## 1 | プログラム統括責任者

プログラム統括責任者は研修医から提出される経験録、実習記録から不足の経験などを補うよう、研修医および指導医に助言します。

## 2 | 指導医

各分野の認定医・専門医・指導医(臨床研修指導医講習会受講済みかつ臨床経験7年以上)の中から、各教育責任者が推薦し、研修管理委員会が認定した指導医によって4~8週にわたり指導を受けます。

## 3 | 日当直指導医

内科系、外科系、救急科、必要に応じて小児科、産婦人科の上級医の日当直医の指導を受けます。

## 4 | 入院患者指導医

入院患者の研修では、研修医は担当医となり主治医(指導医)と一緒に診療します。研修医は、受け持ち入院患者の退院後2週間以内に入院総括を記載し指導医のチェックを受けます。

## 5 | 評価表の入力

研修医と指導医は、各終了時にそれぞれがオンライン卒後臨床研修評価システム(EPOC2)による評価を行い、評価表に入力します。研修管理委員会は速やかに評価します。

## 6 | レポート、経験録の提出

研修における進捗状況の記録については、EPOC2を用いて行います。研修医は研修開始後6ヶ月毎にそれまでの経験患者を入院総括と経験録に記載して、研修管理委員会に提出し中間評価を受けます。研修医は2年間の研修終了2ヶ月前までに入院総括と経験録を研修管理委員会に提出し、最終評価を受けます。

## 7 | 報告書の確認

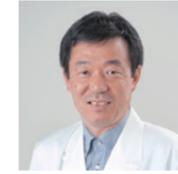
研修医は自らオーダーしたレントゲン画像や病理組織については、放射線科医や病理医の結果報告書を指導医とともに確認しチェックしなければなりません。

## 8 | 総合評価

臨床研修管理委員会評価委員会は研修終了2ヶ月前までに提出された入院総括、経験録、評価表の評価、検討会での患者呈示、学会・研究会への発表などを勘案して総合評価を行います。プログラム上の評価基準を満たし、入院総括の未記載と画像および病理報告書の未確認がないと認められた研修医に研修修了の判定を行います。



# 05 指導医



副病院長(呼吸器・感染症内科兼総合診療科)  
新潟大学地域医療教育センター長

高田 俊範

## 大学病院との連携で専門医取得に必要な患者さんも経験します

当院は、魚沼地域だけでなく新潟県全体の医療体制を充実する役割を担う病院です。ですからぜひ、当院での研修終了後も新潟県内で活躍してほしいと願っています。

当院は新潟大学と密に連携しているため、研修終了後の学位取得もスムーズに移行できますし、各科各分野の専門医取得のために必要な患者さんも確実に経験することができます。また、このネットワークを利用して、患者さんの紹介、逆紹介、診療情報の提供、診断や治療に関する専門的な助言をいつでも受けることが可能です。

こうして新潟大学医歯学総合病院に負けない質の高い診療を実施しています。魚沼という地域でキャリアアップを果たし、新潟県の医療を担うスペシャリストとして活躍してみませんか。



リハビリテーション科 部長(兼総合診療科)

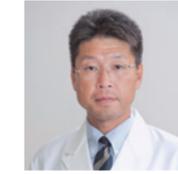
大西 康史

## 充実した初期研修こそ、理想の医師に向かう基礎となります

初期臨床研修の2年間の在り方が、その後の長い医師のキャリアの多くを決めると言っても、過言ではありません。当院は初期臨床研修において、総合的な臨床能力の醸成を重視しています。将来的に選択する診療科を問わず、基礎となるマネージメントは共通しているからです。

2年の充実した初期研修を終えた時、次につながる大きな一歩を得た自分を感じることができるはずです。また当院は、研修医の皆さんのロールモデルとなる、地域医療を支える誇りを持った医師が多く勤務しています。そういった上級医との出会いは、研修医の皆さんの豊かな感性に響き、学びの意欲を高めてくれることでしょう。

研修医の皆さんと一緒に学び、そして成長できるよう、我々指導医も頑張っていきます。多くの若手の皆さんに我々の仲間になって頂き、共に働けることを期待しています。

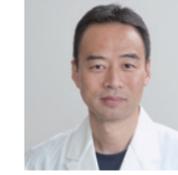


消化器外科・一般外科 部長

角南 栄二

## さまざまな疾患と豊富な手術を経験することができます

当院の研修プログラムは、当科の研修ひとつをとっても食道外科から肝胆膵外科、腹腔鏡手術、乳腺に至るまでさまざまな疾患を経験できます。外科手術に参加することは、人体のなかを実際にみられるということですから。これは総合診療を行う上でも必ず役に立ちます。ぜひ外科研修の経験を活かし、他の研修医には身につけられない知識と能力を得ていただきたいと思います。外科の研修期間は8週間。年間手術件数は350以上ありますから、大きな手術を目の当たりにすることができるはずです。食道外科から肝胆膵切除まで豊富な経験ができますし、ヘルニアや虫垂炎の開腹手術などは研修医の手で行っていただきます。これこそ外科での研修のメリットといえるでしょう。魚沼基幹病院は各診療科同士の意思疎通が図れているので、技術だけでなく他科とのコミュニケーション能力も磨かれます。この病院で人生を変えるような出会いが、あなたを待っているかもしれません。



地域救命救急センター長

山口 征吾

## 他科との連携が多い救命救急センター、たくさんの症例を経験してください

当院の救急車搬送台数は年間2千数百台で、医療圏は約15万人です。救命救急センターとしては、こぢんまりとしていますが、多彩な症例が搬送されてきます。

当院の救命救急センターの役割は、救急車の対応と重症患者の集中治療管理です。脳卒中や急性心筋梗塞、多発外傷や敗血症など、たくさんの疾患があります。季節によって、その疾患も異なってきます。例えば冬の間にはスキー、スノーボード外傷や、屋根の雪下ろし転落外傷など他の地域ではあまりみられない外傷が多くあります。また、一つの科では完結しない症例が多く、他科との連携や他職種との連携が必要です。そういった連携のやり方を実際に見てもらい、研修医自らのコミュニケーション能力を向上させることができるのは、当院の魅力と考えます。他科との垣根も低い病院ですので、働きやすいと思います。当院の救命救急センターで、この症例は重症なのか、軽症なのか。今後は安定していくのか、まだまだ不安定な状況が続くのか。どのタイミングで各専門診療科に引き継ぐのがベストなのか。的確な判断ができるようにたくさんの症例を経験してってください。

# 06 研修医の1日 ~朝から当直まで~

## 1 | 救急カンファレンス

毎朝救急カンファレンスが行われます。前日に救急外来を受診し入院した患者さんの病状や治療方針について、救急科、総合診療科の医師が集まって情報を共有します。超急性期を経た後に必要と考えられるチーム医療についても、ここで意見が交わされます。



## 2 | 外来診療

外来診療研修では、総合診療科（総合内科）や小児科、外科において、指導医の下で実際の診療を経験し、入院診療との違いを理解しながら研修を行います。



## 3 | 病棟回診

各ローテーションごとに、内科サブスペシャリティや各診療科の病棟回診に参加します。回診をすることで、電子カルテだけではわからない患者さんの表情や、生の声を捕まえることができます。特に、寝たきり患者や人工呼吸管理患者の治療方針を決めるのに病棟回診はかかせません。



## 4 | 手術

外科系診療科の研修では、研修医も診療チームの一員として手術に臨みます。研修期間における実績に応じて、基本的な処置から順次、手術手技に関する具体的な経験を積むことができます。



## 5 | 救急診療/日当直

研修医の1年目では、内科、外科、産婦人科、小児科、精神科と整形外科等を回ります。そして、こうしたベースをもとに、2年目では救急科をローテーションします。もちろん、その間にも日当直で救急診療を経験します。そして、内科系・外科系当直医さらには救急科指導医の指導を受けながら診療に当たります。臨床研修では、病棟や外来と並び、救急診療や当直は重要なトレーニングアイテムになっています。ここでどれだけの診療経験と学習を重ねたか、それが研修の成否を決めると言っても過言ではありません。



## 6 | 臨床病理カンファレンス

魚沼基幹病院では、不幸にして亡くなられた患者さんについて、必要に応じて病理解剖をお願いしています。そして、その臨床経過と病理所見について整理を行い、診療を振り返り学ばせていただく「臨床病理カンファレンス」は、年2回実施しています。



## 7 | 学会・研究会発表

内科であれば内科信越地方会、それ以外の診療科では各専門科地方会などで、主に症例報告を行います。一つの症例を深く学ぶことにより、その疾患を完全にものにできたことが実感できます。



## 8 | 各種研修会・検討会

各診療科の医師やメディカルスタッフを講師として、院内で研修医向けのセミナー（「ICLS 研修」、「腹部超音波検査研修」、「心エコーによる「POCUS」研修」、「中心静脈カテーテル挿入ハンズオンセミナー」、「感染対策研修」など）を定期的で開催しています。また当院では、魚沼圏域の医療機関から紹介のあった症例について、紹介元や地域の先生方を交えた症例検討会を定期的で開催しており、研修医も参加しディスカッションを行います。



# 07 先輩メッセージ

先輩メッセージの詳細はWebサイトで。  
<http://resident.uonuma-kikan-hospital.jp/page5.html>



基幹型研修医

柏木 敬太 出身地：大阪府 出身大学：福井大学(R4卒)



新潟県内に残って慣れ親しんだ土地で研修を考えている方。  
新潟県外でどこか別の県で研修してみたいと考えている方。  
自分のペースで焦らずじっくりと研修したい方。  
内科から外科にかけて色々な疾患を経験したい方。  
熱心な指導医に何でも聞ける環境で研修したい方。  
同期と仲良く充実した2年間を過ごしたい方。  
そして、医学部入学の面接試験で「将来は地域医療に携わりたいです」と答えた方。  
魚沼基幹病院ではそんな方にピッタリな臨床研修が実現できます。  
百聞は一見に如かず。悩んでいる方は今すぐ見学に来てみてください。

基幹型研修医

木村 真依 出身地：岐阜県 出身大学：大阪大学(R4卒)

魚沼基幹病院は初期臨床研修病院として最高の病院です。ここでは当院研修の良いポイントを3つ挙げさせてもらいます。

## ①主治医としての経験

主治医となり患者を受け持ち、治療方針の決定・家族への説明・病棟管理・退院調整など全てを自分が担当します。

自分で調べて、自分で考え、自分で決める、これほど力になる経験はありません。

## ②教育的でフットワークの軽い指導医

大学から来られている指導医の先生も多く、非常に教育熱心な方が多いです。質問や相談に快く熱心に答えて頂き、手厚くフィードバックをもらいながら成長することができました。

## ③地域包括ケアシステム全体を経験

地域研修では同じ魚沼医療圏内の各病院、開業医や訪問看護等での研修が可能です。高度急性期医療からかかりつけ診療まで医療全体の流れを経験できました。自身が患者さんの治療のどこを担当しており、どのような医療が求められているのかを理解したことで、患者さんの視点に立った医師になることができたと感じます。

最初は上手いかず凹む毎日でしたが、日々の研修を経て、気づけば大変充実した2年間を送ることができました。

魚沼基幹病院での研修、めっちゃオススメです！ぜひ見学にいらしてください！



基幹型研修医

沼尻 彩水 出身地：新潟県 出身大学：新潟大学(R4卒)



魚沼基幹病院で初期研修を行うことの魅力は、  
○自分がやりたいと希望すれば、様々なことにチャレンジできる  
○指導医との垣根が低く、アットホームな雰囲気です2年間研修できる  
○自分次第でハイパーにもハイポにもなれる  
○1次から3次まで幅広い症例を経験できる  
○ローテーションは柔軟に変更できる  
そして、なんとといっても研修医同士の仲がよく充実した2年間を過ごせること間違いなしです。  
お花見、スキー、温泉、みんなでごはんなど楽しい研修医生活が待っています。  
みなさんぜひ一度見学にきてください。

基幹型研修医

山本 泰雅 出身地：山梨県 出身大学：東京医科歯科大学(R4卒)

当院での研修の一番の魅力は、医療を個別の患者からシステム面まで満遍なく体験できる次の3点だと思います。

1つ目は、患者層が広い点です。診療科、年齢、重症度のいずれも幅広く経験できる環境は地域の砦としての病院ならではの強みです。救急外来では上級医の監督のもと、ウォークイン、救急車、小児科症例も研修医が初療に当たるため多様な症例を経験することができました。

2つ目は、裁量が大きい点です。内科系研修では主治医として治療方針の決定、患者・家族への説明などを行います。外科系研修では執刀医を担うこともあります。いずれも上級医の監督の下で行われますが、上級医に支えられながらも診療に対する責任を多めに持つことで、勉強にも身が入り、大きく診療能力が伸びたと感じました。

3つ目は、医療システムの見通しがよくなる点です。当院は「地域全体で一つの病院」というシステムを掲げています。魚沼地域は全国で進む地域医療構想に先駆けて、医療機関ごとの機能分化と連携を進めてきた背景があります。当院と密に連携のある病院で地域医療研修を行うことで、地域医療構想が目指す姿や、自身が急性期に診療した患者の回復期や慢性期の経過を把握することができたのは大変貴重な経験でした。また、選択研修を利用して新潟県庁で医療行政の研修も行うことができたのも大変学びの多い機会になりました。

このように、個別の診療経験と医療体制というミクロ・マクロの両面から、学びを上げ深めることができる体制が当院には整っています。是非一度見学にいらしてください。



## 見学医学生アンケート

【県外：女性】研修医の先生方の雰囲気がとても良く、1年目からも分かりにくいことが聞きやすいと思いました。

【県外：男性】手技や診療など自分がやりたいことを希望すれば柔軟に対応していただけたと感じた。

【県内：男性】魚沼基幹病院は診療科も多く揃っていること、1次救急～3次救急まで幅広い患者さんが来るため、幅広く学べると感じました。

【県内：男性】診療科が揃っていることや3次ということもあり様々な疾患を見ることができ、経験を積むことができると感じた。また、当直、日直の制度に指導の手厚さを感じた。

【県内：女性】研修医宿舎が目の前にあるのがすごくよかったです。病院がきれいで院内食堂やコンビニが揃っていて便利でした。研修医室も広く快適で研修医同士が意見交換などもしやすい雰囲気良かったです。

## Q 魚沼基幹病院の印象をお聞かせください

【県外：男性】希望する条件を満たす部分が多い。特にウインタースポーツ外傷を経験できる点や、他院から地理的に隔離されている点が魅力的である。病院の規模に対する人員数、患者数が適度で個々の患者さんとしてしっかり向き合える環境だと感じた。周辺環境も自家用車なしで生活できる程度には整っており、特に問題を感じなかった。

【県外：男性】先輩方の雰囲気が非常に優しくしてもらえ

た。手技ややりたいことがあればなんでもやらせてくれて成長できる環境だと思った。

【県内：男性】魚沼地区唯一の三次機関として多彩な症例を経験できると感じた。

【県外：男性】志望する科がそろっておりプログラムが充実していると感じた。

# 08 募集要項

募集要項の詳細はWebサイトで。  
<http://resident.uonuma-kan-hospital.jp/page6.html>



## 募集要項

**募集人員：**1年次生 8名  
**募集方法：**公募(日本医師臨床研修マッチングシステムに基づく)  
**選考方法：**面接および書類選考  
**募集締切日：**令和6年8月31日 ※選考は希望者の相談に応じて随時実施します。  
**申込方法：**まずは下記申込先へご連絡ください。当院指定申込書を郵送又は持参のこと。  
 (申込書はホームページからダウンロードできます)  
**申込先：**魚沼基幹病院 事務部総務課臨床研修担当  
 TEL.025-777-3200 FAX.025-777-2811 E-Mail [ukb-kenshu@ncmi.or.jp](mailto:ukb-kenshu@ncmi.or.jp)

## 研修医の待遇

**身分：**常勤医師として雇用(臨床研修医)  
**給与：**[1年次]  
 基本給:360,000円、当直手当:21,000円/回、  
 時間外勤務手当:当院規定により支給、  
 月額計:528,000円程度(時間外勤務45時間の場合) ※上記以外に、各種手当あり  
 [2年次]  
 基本給:390,000円、当直手当:21,000円/回、  
 時間外勤務手当:当院規定により支給、  
 月額計:568,000円程度(時間外勤務45時間の場合) ※上記以外に、各種手当あり

**勤務時間及び休暇：**8:30~17:30(休憩時間12:00~13:00)  
 年次有給休暇(1年次:10日、2年次:11日+繰越分)  
 夏季休暇(有給、5日/年)  
 ※上記以外に、忌引休暇、私傷病休暇等各種休暇あり  
**時間外勤務及び当直：**あり(当直は研修計画Iの12参照。)  
**社会保険・労働保険：**健康保険、厚生年金、雇用保険、労働者災害補償保険適用あり  
**健康管理：**定期健康診断年1回、そのほか勤務実態に応じて夜勤者健診等あり  
**医師賠償責任保険：**病院加入有り、個人加入任意  
**外部研修活動への補助：**学会・研究会等に係る参加費、旅費補助あり(上限141,000円/年)  
**研修プログラムに定められていない病院等での診療の可否：**不可  
 (一般財団法人新潟県地域医療推進機構職員就業規則による)

### その他

- 院内に研修医専用の居室あり(持ち込みPC等によるインターネット利用可)、図書室あり
- 平日毎朝開催している救急・総合診療合同検討会に原則参加
- 各診療科においても専門検討会を定期的に開催
- 臨床研修管理委員会を、年2回以上開催します。また、必要に応じてプログラム運営管理小委員会を開催し、研修医の到達状況を把握しフォローします。
- 研修期間中のアルバイトは禁止しています。



研修医専用の居室

## 宿舎

病院隣接地の研修医宿舎(1K又はDK。単身用30戸/家具付き)を使用可能(Wi-Fi完備)。  
 使用料:居室/無料  
 駐車場:月額5,000円



## SNAPSHOT



# 09 地域情報

近くの人気清津峡渓谷トンネルへ



メンバーでおでかけ



## 浦佐周辺のオススメスポット



近くに大きな公園



病院からも近い「八色の森公園」は、越後三山(八海山、駒ヶ岳、中の岳)を望む絶景です。

おいしいお店！



ワインレストラン「葡萄の花」  
おいしいワインと地元で獲れた新鮮な食材を使ったメニューで人気です。

## 登山・トレッキング



アウトドアファンに最適！

2007年8月に20年ぶりに新設された29番目の国立公園「尾瀬」は、日帰りコースも充実しています。また、越後三山と称される越後駒ヶ岳・八海山・中ノ岳をはじめ、日本百名山に数えられる平ヶ岳、巻機山、谷川岳、苗場山など、山登りが好きな人には制覇したい山々が近くにあります。



尾瀬沼でトレッキング！

## スキー・スノーボード



人気湯沢スキー場！

みんなでスキー・スノボ



魚沼エリアは、年間約350万人のスキー・スノボを楽しむ人たちが集まる一大スキーリゾートエリア。南魚沼地域に22、魚沼地域に6か所のスキー場が点在しています。魚沼基幹病院では、周辺スキー場の1日リフト券が無料・割引になる福利厚生制度を用意しています。

みんなで温泉旅行

## 温泉



南魚沼は温泉天国！

魚沼エリアは、年間50万人以上の宿泊客が訪れる越後湯沢温泉をはじめ、六日町温泉郷、湯之谷温泉郷のほか、「日本秘湯を守る会」に登録されている貝掛温泉や栃尾又温泉など、個性豊かな温泉があります。日帰り温泉もたくさんあるので、休日の温泉巡りも楽しみです。



## 地域交流

魚沼基幹病院は、積極的に地域活動やお祭りに参加しています。



「裸押し合い大祭」に参加、応援団も入ると50名以上が参加します。地元浦佐の一員としてがんばります！

南魚沼の一大イベントとしてすっかり定着したグルメマラソンにおよそ60名が参加し、総勢5,000名超のランナーと走ります。

UKB(魚沼基幹病院)米収穫に向けた田植えが行われます。秋には稲刈りが計画されています。

## 冬の浦佐



美しい雪景色



浦佐は豪雪地域です。一晩で1mも雪が降ることもありますが除雪対策がしっかりしているから道路の雪で動けなくなることはありません。もちろん高速道路も除雪が早いので、安心して暮らせます。歩道も除雪するので人が歩くのも安心です。